第67回　日本人間ドック学会学術大会

県主導の認知症未病改善プロジェクト
～「未病指標 認知機能測定版」実施率向上を目指して～

横浜市立みなと赤十字病院　健診センター

筆頭発表者：熊谷心
共同発表者：伊藤美奈子　榊原俊哉　北村聖奈　菅野みほ
角谷沙織　守岡謙　小泉澄夏　星さおり

演題発表に関連し、筆頭および共同発表者は
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

背　景

「未病」とは健康と病気の間で連続的に変化している状態を指す。神奈川県では、未病対策の一環として認知症未病改善プロジェクトを推進している。

当健診センター長は、2024年度から神奈川県ME-BYO STYLEアンバサダーに就任しており、SNSや各種イベントを通して様々な情報発信を行い、未病改善に尽力している。その背景を踏まえ、県からの依頼を受託し、2025年9月、このプロジェクトに参加した。県内の医療機関では初の取り組みとなる。

このプロジェクトの目的は、全世代での「認知機能簡易チェック」の実施率向上と定着に寄与することである。

概　　要

対象者　：2025年9月～2026年6月の受診者の
うち、対面で実施勧奨をする機会が
無かった者を除外した3639人

勧奨方法：

- 朝一番の問診時にチラシを
見せながら対面で説明

- ご自身のスマートフォンを
用いて、待ち時間に任意で
受診者に実施していただく



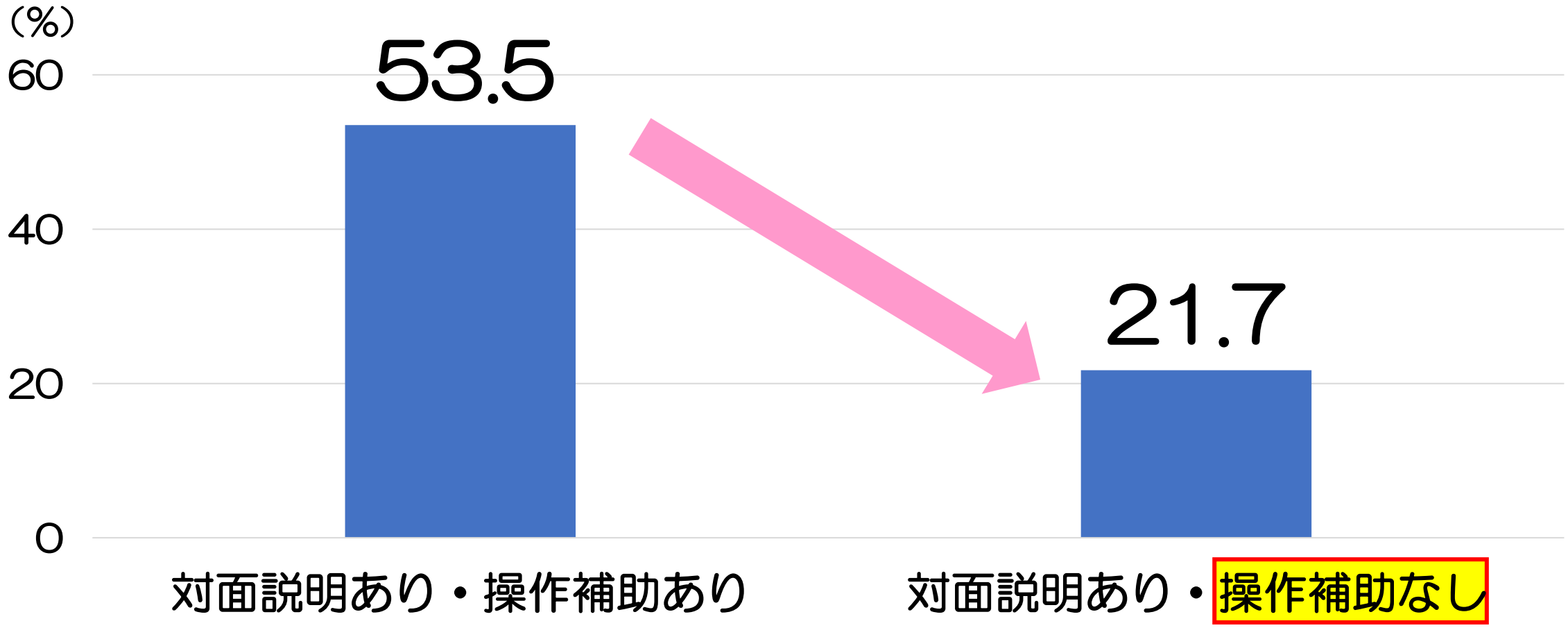
実施率は高かったが、問題が発生

最初2日間の実施率は 53.5%

検査説明と質問対応、操作補助に多くの時間を要し

① 検査開始時間の遅延
② 待ち時間の増加
③ 職員の業務負担の増加

実施率は 53.5%→21.7% に低下



勧奨方法を変更

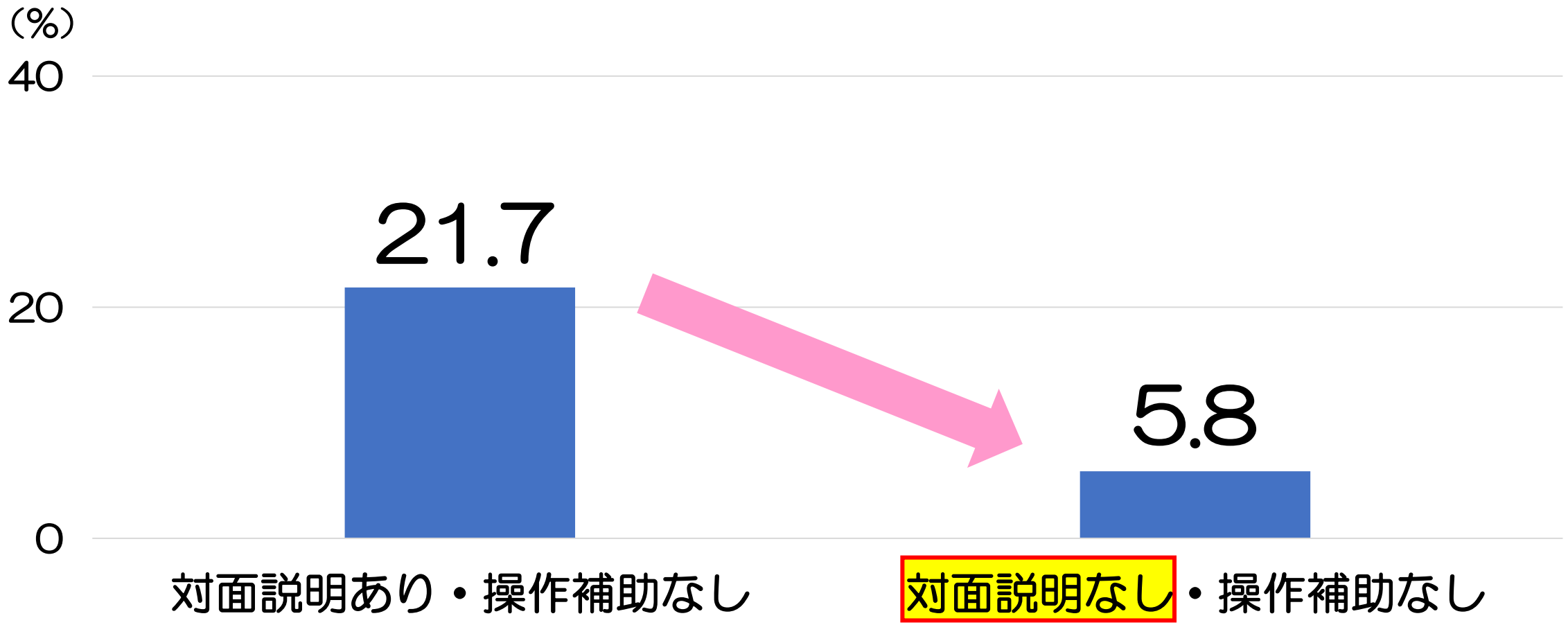
- 朝一番の問診時にチラシを
  見せながら対面で丁寧に説明

→貸出しバッグにチラシを入れる

- ご自身のスマートフォンを
  用いて、待ち時間に任意で
  受診者に実施していただく



実施率は 21.7%→5.8% に低下



ポスター掲示数を増加



増加前



増加後

対面での実施勧奨を再開

✦ 説明を行うタイミング ✦

朝一番の問診時 →検査の合間

✦ チラシの工夫 ✦

手持ちサイズを配布

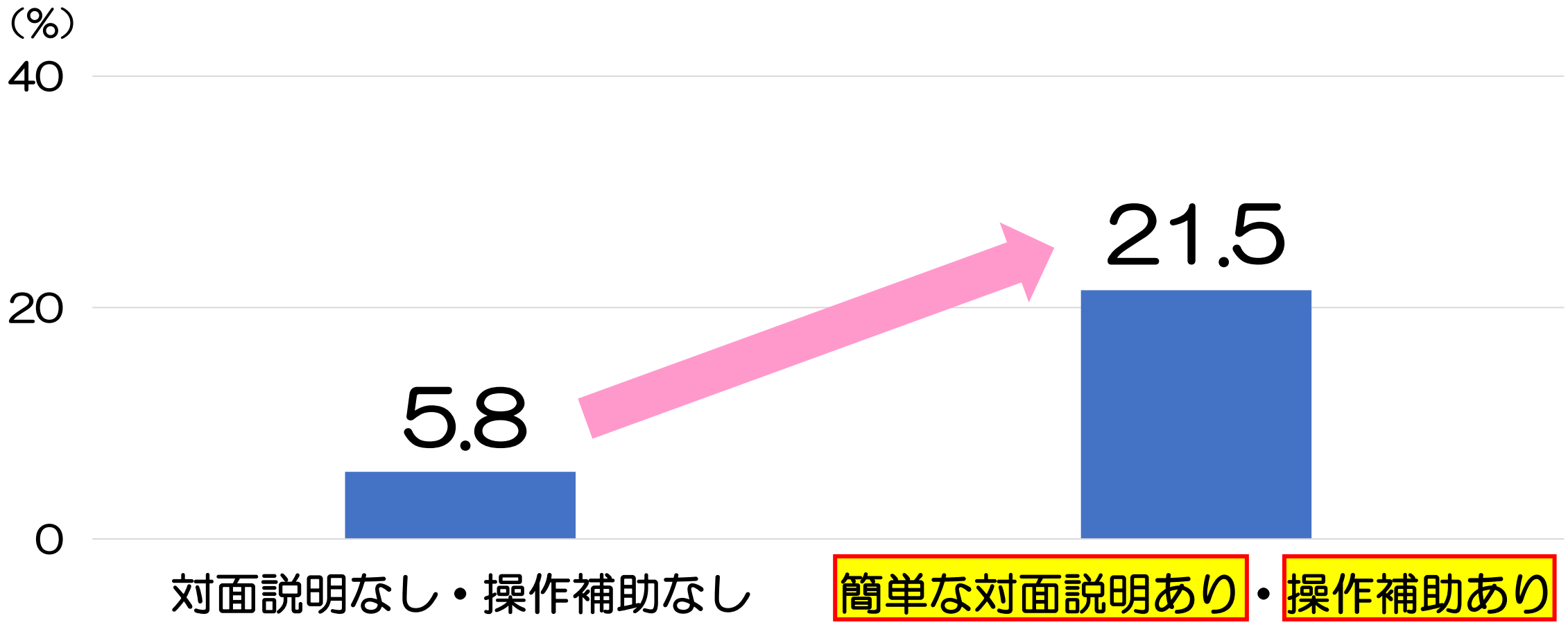
神奈川県では、専門的に使われている認知機能簡易チェックを、気になった時にどなたでも測っていただけるよう、「未病指標 認知機能測定版」を無料で提供しています。

スマートフォンで、こちらの二次元コードにアクセス！
約2～3分で、すぐに認知機能のチェックができます

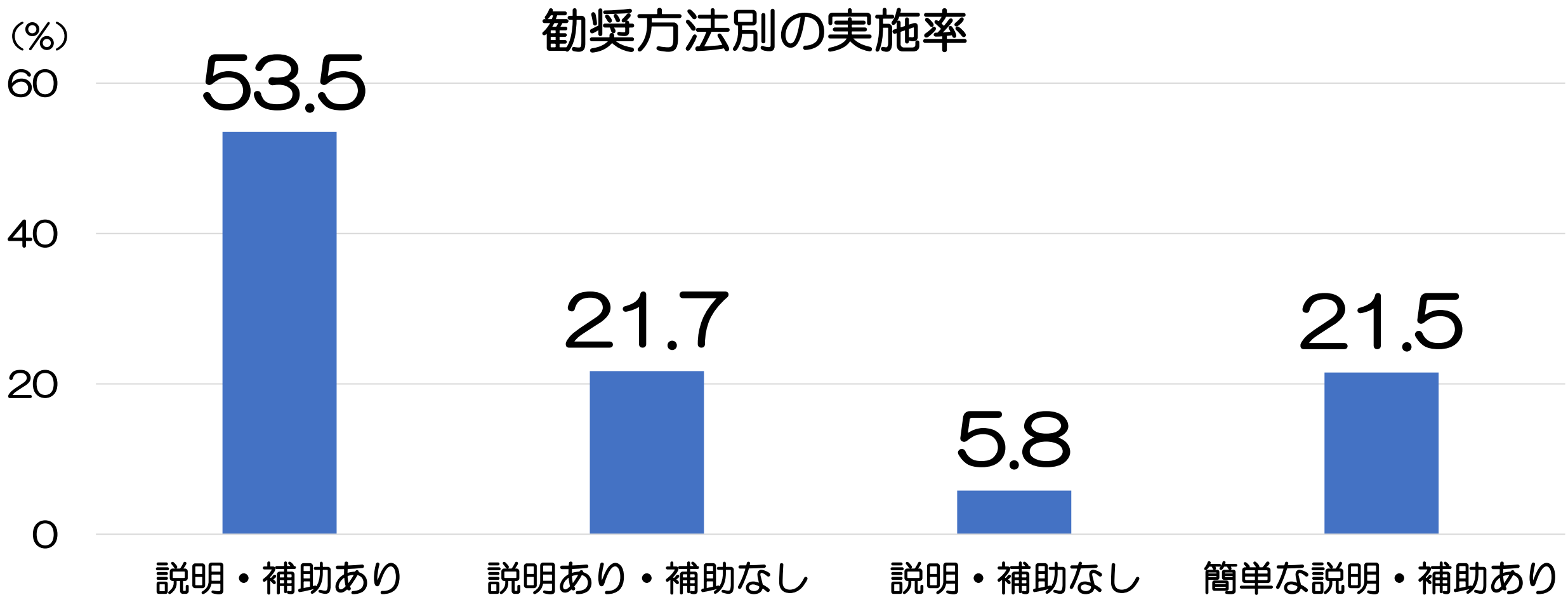
※認知機能とは、判断力、記憶力、計算力等のことです。
認知機能低下が疑われる場合は、早めに専門家等に相談しましょう。

未病指標 認知機能測定版
https://minicog.mebyoindex.com

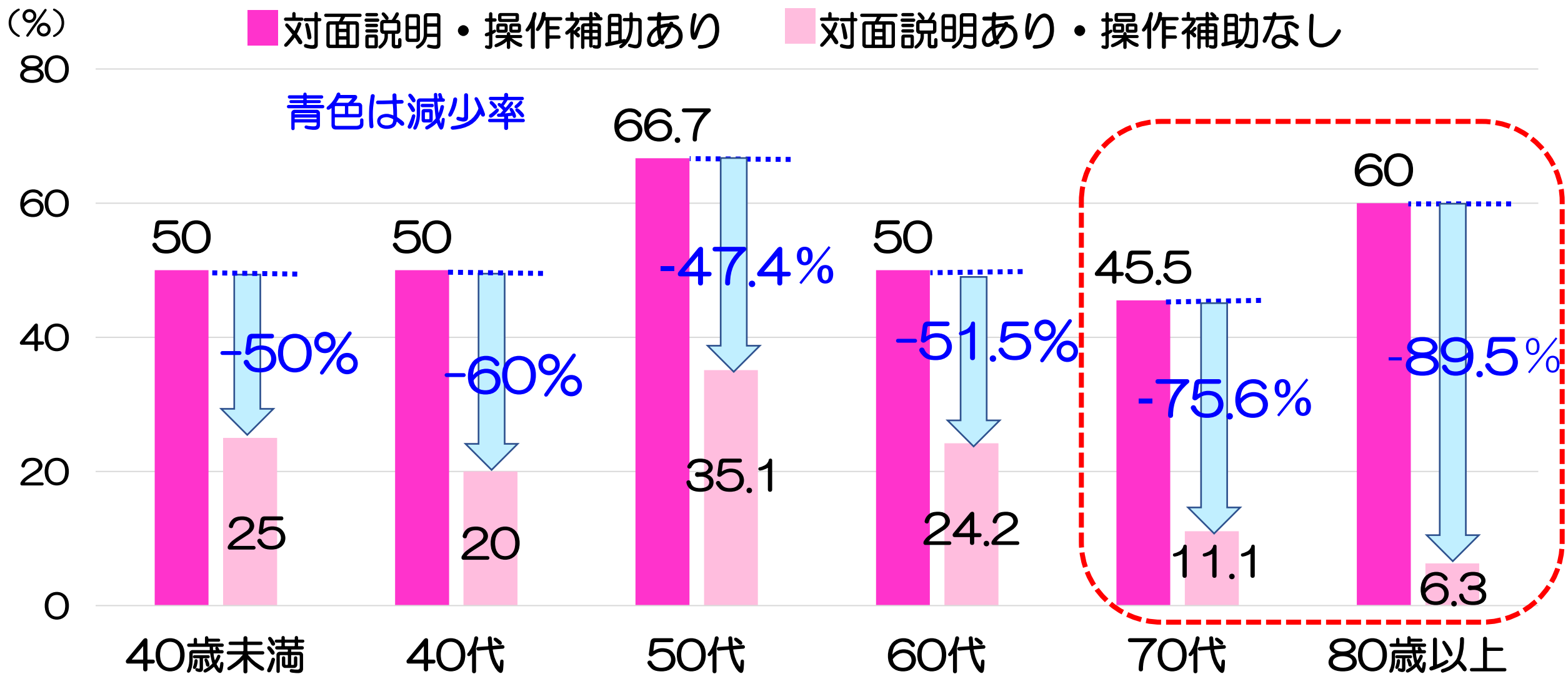
実施率は 5.8%→21.5% に上昇



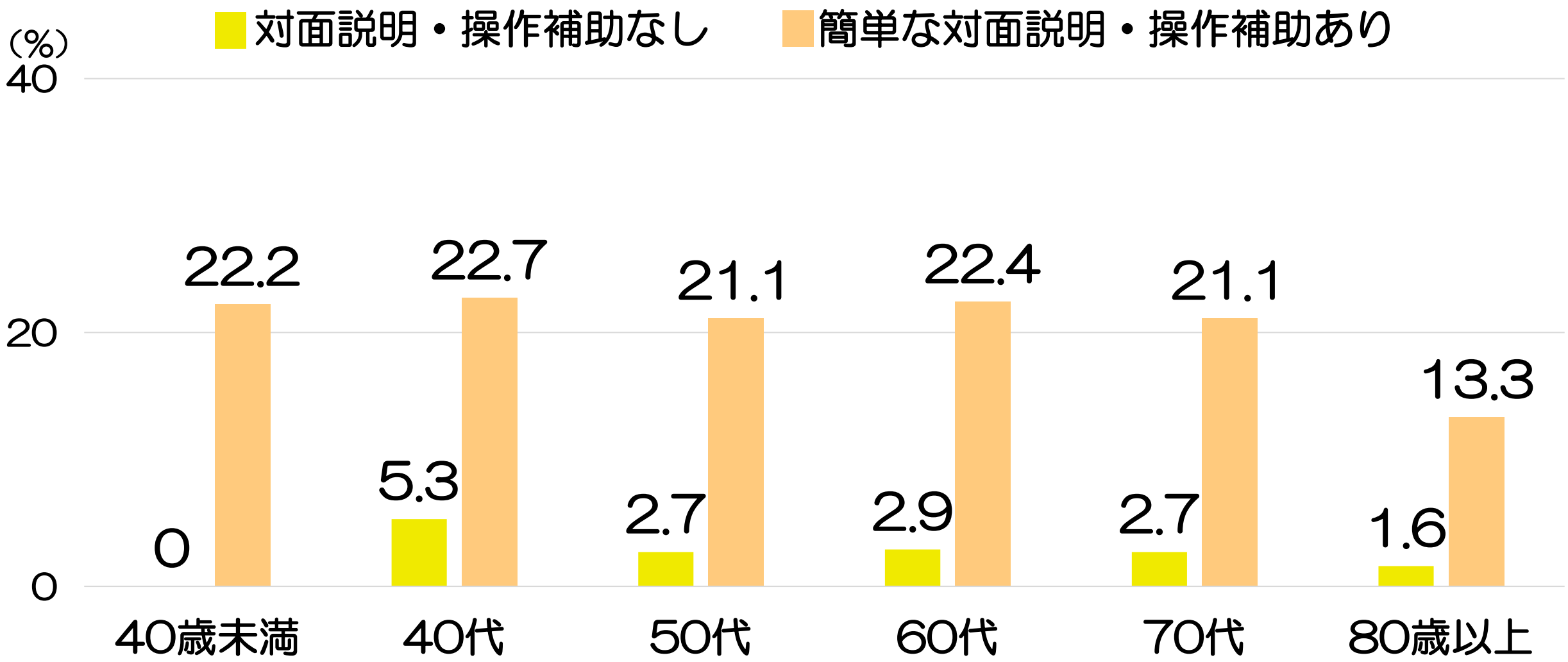
実施率向上と業務効率化のバランスが重要



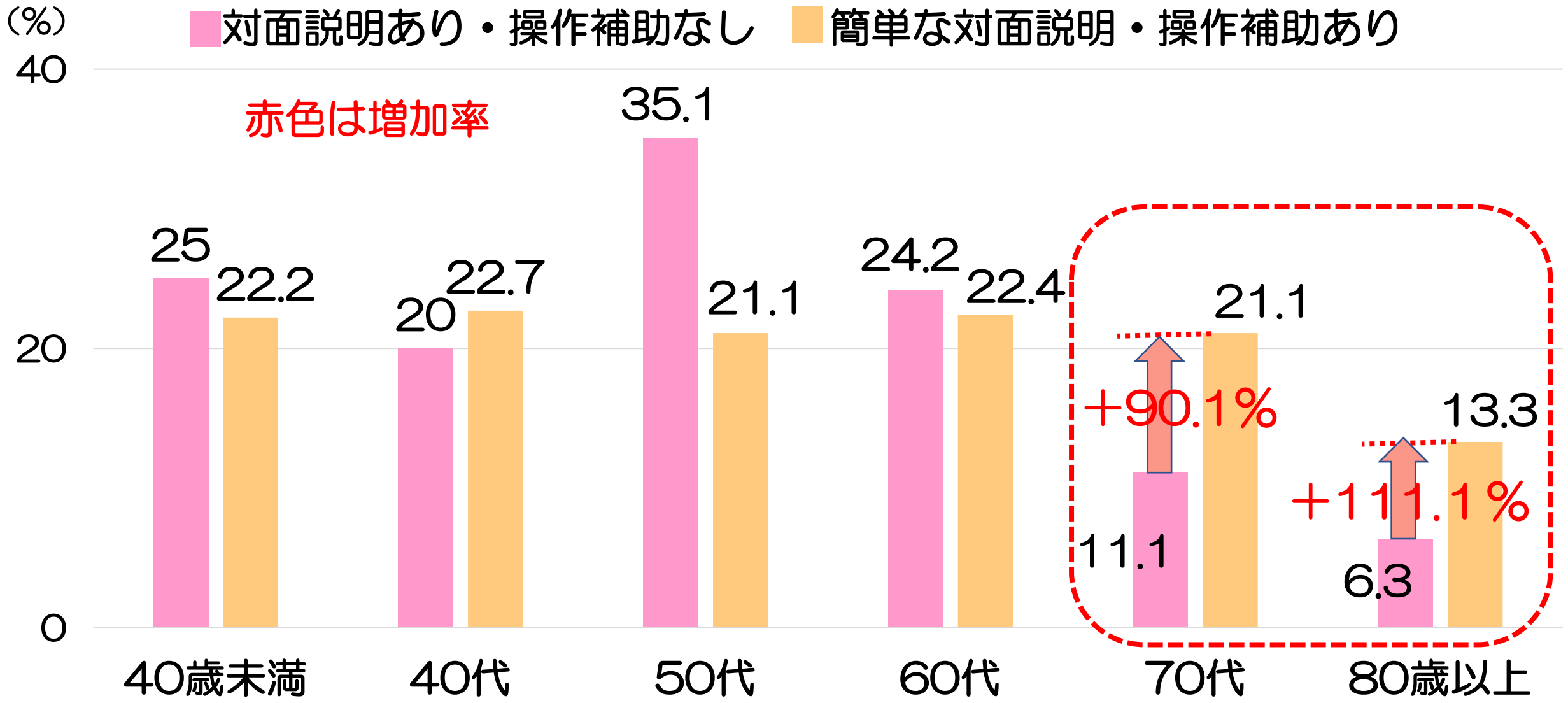
年齢階級別実施率


(%)
対面説明・操作補助あり
対面説明あり・操作補助なし
青色は減少率
80
60
40
20
0
50
25
-50%
50
20
-60%
66.7
35.1
-47.4%
50
24.2
-51.5%
45.5
11.1
-75.6%
60
6.3
-89.5%
40歳未満
40代
50代
60代
70代
80歳以上

年齢階級別実施率


対面説明・操作補助なし
簡単な対面説明・操作補助あり
(%)
40
20
0
22.2
0
22.7
5.3
21.1
2.7
22.4
2.9
21.1
2.7
13.3
1.6
40歳未満
40代
50代
60代
70代
80歳以上

年齢階級別実施率


(%)
対面説明あり・操作補助なし
簡単な対面説明・操作補助あり
40
20
0
赤色は増加率
25
22.2
20
22.7
35.1
21.1
24.2
22.4
11.1
21.1
+90.1%
6.3
13.3
+111.1%
40歳未満
40代
50代
60代
70代
80歳以上

ま と め

- 対応が手厚くなるほど実施率は高くなるが、それに伴い業務負担も増加するため、実施率向上と業務効率化のバランスが重要である
- 丁寧な対面説明と操作補助を行った期間は、どの年代も実施率は45%以上だった
- 操作補助を中止すると70歳以上の減少が著しく、携帯操作に不慣れ実施に繋がらなかったと考える
- 対面説明も中止すると各年代の実施率が1桁台まで低下した
- 簡単な対面説明を再開し、持歩きサイズのチラシを配布した期間は、大幅に回復した
- 操作補助を行うと高齢者の実施率は増加した

展　　望

- デジタルサイネージ（電子掲示板）を活用し、多くの受診者に実施勧奨を行なう

- 当院で実施しているドックや健診に「認知機能簡易チェック」を無料で受けることが出来る検査として組み込み、多くの受診者に実施していただく

